

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業		路線又は箇所名等			印旛処理区	
事業所管課		上下水道課			事業主体			酒々井町	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	2.2	総費用	456億円	総便益	1020億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和49年度

【事業概要】

項目	全体計画	事業計画 (完成予定年次:H22)	現況(H20末:見込み)
処理区域面積	1320ha	451ha	378ha
処理人口	23,100人	19,310人	19,438人
処理施設	—	—	—
事業費	172億円	54億円	51億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画451haに対して378haで、整備率84%となる。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率は97%である。
地元情勢等	酒々井町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定、放流先水域の状況変化等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画の見直しについて、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等の再生資材ならびに改良土の利用等によりコスト縮減に努めている。
代替案	本町の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

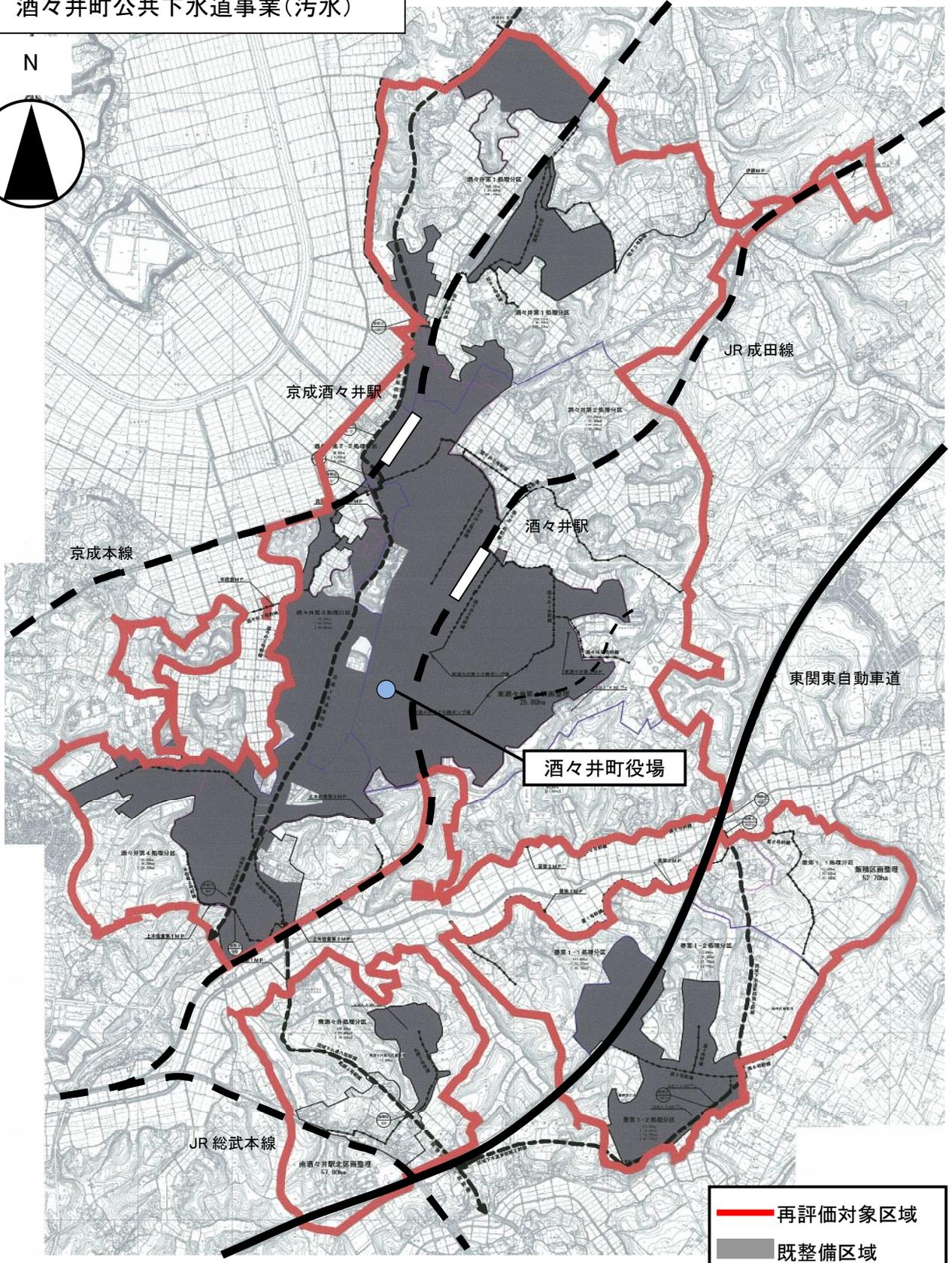
【対応方針(案)】

酒々井町公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、事業を継続していく方針です。

事業概要図

番号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業	路線名又は箇所名	印旛処理区
----	---	-----	-------------	----------	-------

酒々井町公共下水道事業(汚水)



— 再評価対象区域
 既整備区域

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和47年度
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和49年度	対応方針	継 続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		170億円	42億円			
用地取得面積		—	—			
供用面積(延長)		1,320ha	324ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和49年度	対応方針	継 続	
B/C	2.2	総費用	456億円	総便益	1020億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		172億円	51億円			
用地取得面積		—	—			
供用面積(延長)		1,320ha	378ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業		路線又は箇所名等		高崎川左岸第9排水区他		
事業所管課		上下水道課			事業主体			酒々井町	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成44年度			
費用便益比 B/C	1.3~1.6	総費用	8.7億円	総便益	13億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和52年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画 (完成予定年次:H22)	現況(H20末:見込み)
排水区域面積	106ha	9ha	3ha
処理人口	—	—	—
処理施設の処理能力	—	—	—
事業費	11億円	0.6億円	0.1億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画9haに対して3haを整備し、整備率は33%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	—
地元情勢等	酒々井町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	—
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画の見直しについて、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努める。
代替案	—

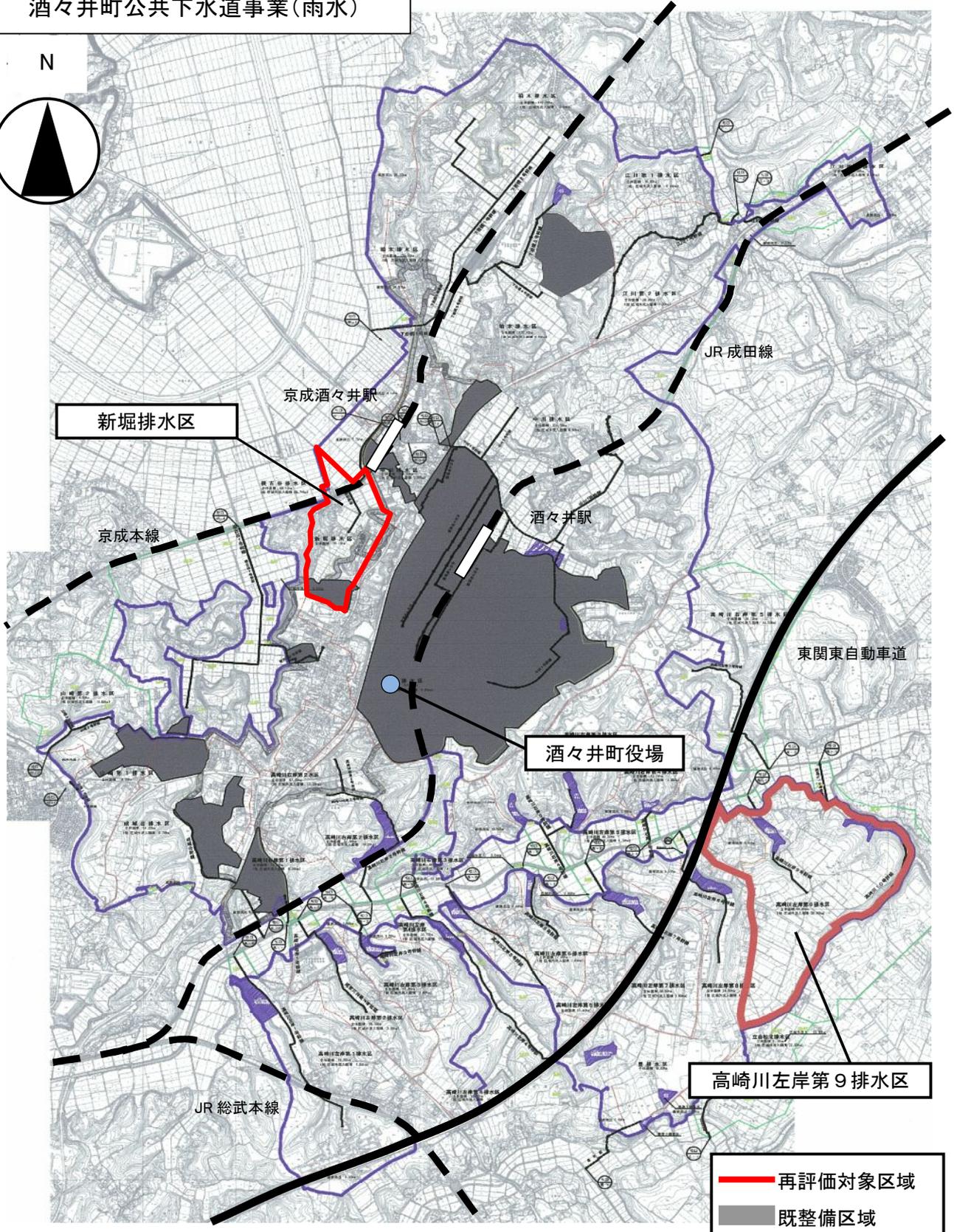
【対応方針(案)】

酒々井町公共下水道事業は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。

事業概要図

番号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業	路線名又は箇所名	高崎川左岸第9排水区他
----	---	-----	-------------	----------	-------------

酒々井町公共下水道事業(雨水)



— 再評価対象区域
 ■ 既整備区域

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	8	事業名	酒々井町公共下水道事業	路線又は箇所名等	高崎川左岸第9排水区他	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—	工事着手年度	昭和47年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和52年度	対応方針	継 続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		11億円	0.1億円			
用地取得面積		—	—			
供用面積(延長)		106ha	3ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和52年度	対応方針	継 続	
B/C	1.3~1.6	総費用	8.7億円	総便益	13億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		11億円	0.1億円			
用地取得面積		—	—			
供用面積(延長)		106ha	3ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	汚水先行で整備してきたが、今後、土地区画整理事業等に合わせ、整備を図りたい。					